

株式会社 G-Place

2025年粗大ごみ受付状況調査

調査期間：2025年6月1日～2025年8月20日



うちの市と似た規模の自治体はどうしてる？



粗大ごみ、今どきの受付方法は？



目次



- 01 調査概要・注意事項
- 02 粗大ごみ受付予約の割合
- 03 人口規模別の粗大ごみ受付予約割合
- 04 都道府県別の粗大ごみ受付予約割合
- 05 戸別収集・搬入収集別予約件数
- 06 戸別収集受付方法
- 07 自治体規模別で見る戸別収集受付方法
- 08 搬入予約受付方法
- 09 自治体規模別で見る搬入予約受付方法
- 10 まとめ

01

調査概要・注意事項

調査目的

全国の自治体を対象に、粗大ごみ受付状況の集計を行いました。これにより今後の自治体運営やサービス改善に役立てる目的としています。

調査対象

1741自治体の市区町村

調査方法

公開しているホームページ内で記載されている粗大ごみの受付方法を集計

調査期間

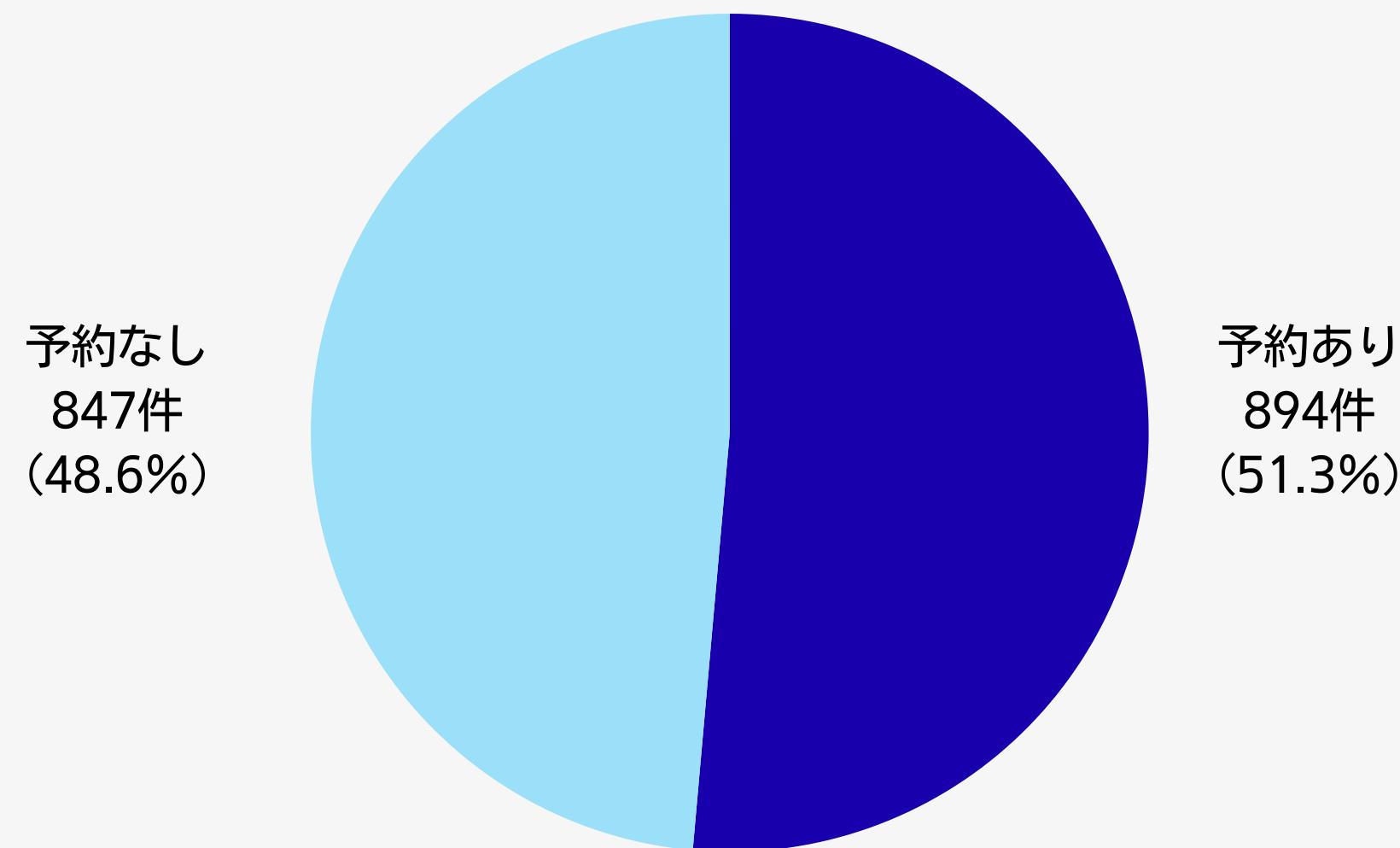
2025年6月1日～2025年8月20日

※本資料の掲載情報は株式会社G-Placeが独自に調査したものであり、正確性、妥当性、適時性もしくは完全性について保証をするものではありません。

02

粗大ごみ受付予約の割合

調査対象の全1,741自治体のうち、予約不要で粗大ごみを受け付けている自治体は846件（全体の48.6%）でした。一方、事前予約を必要とする自治体は895件（全体の51.4%）にのぼり、わずかではあるものの、予約制を導入している自治体の方が多数を占めているという結果になりました。

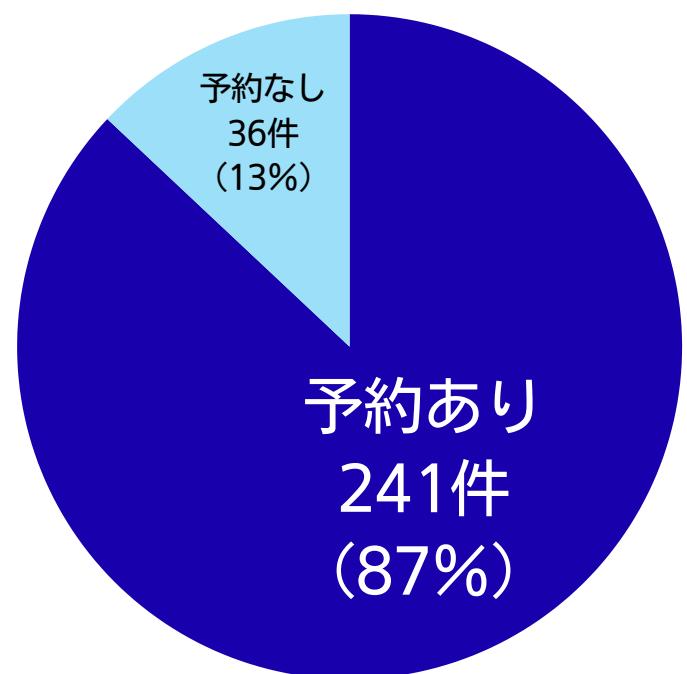


03 人口規模別の粗大ごみ受付予約割合

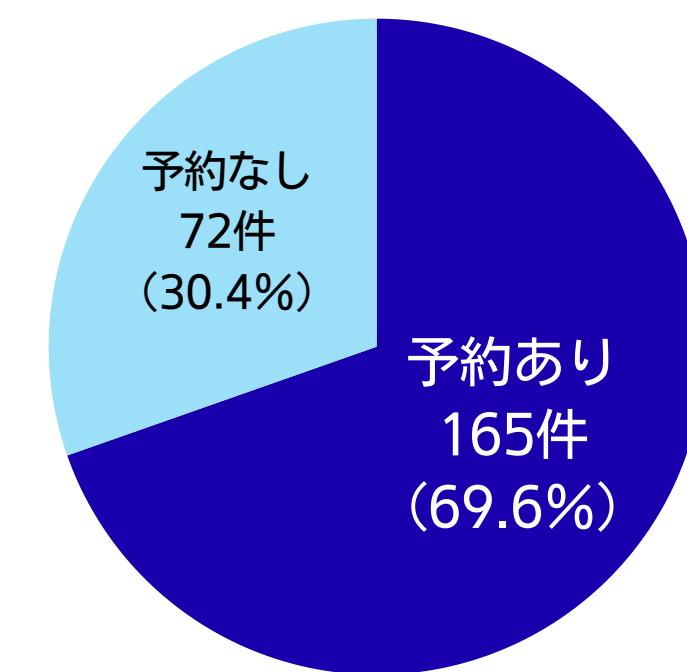
人口規模別に粗大ごみ収集の予約状況を分析したところ、人口が多い自治体ほど予約制を導入している傾向が分かりました。

人口10万人以上の自治体では、87%が予約を受け付けていますが、人口1万人未満の自治体では、69.1%が予約を受け付けておらず、予約受付している自治体は30.9%に留まりました。

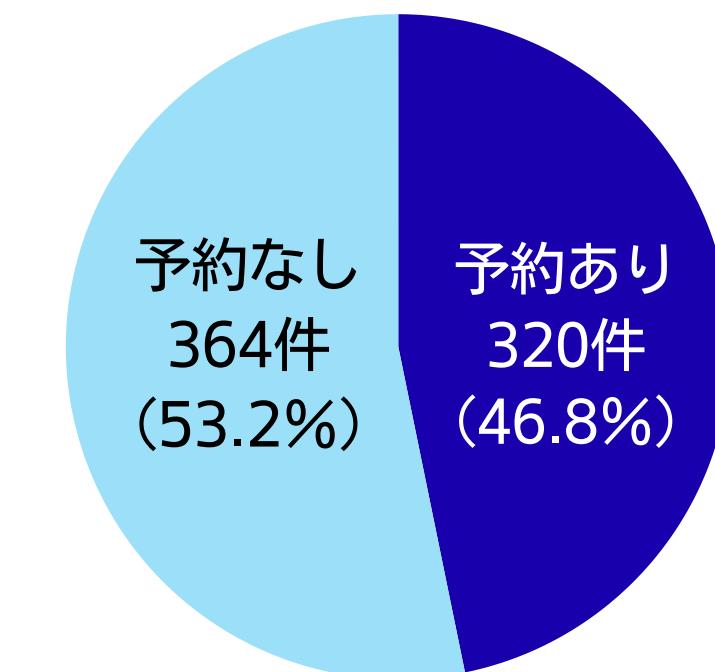
人口10万人以上の自治体



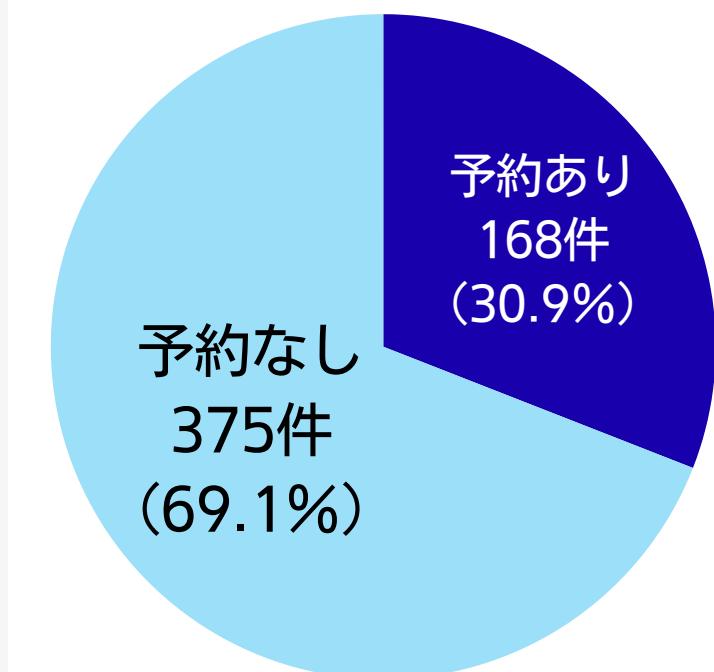
人口5万以上10万未満の自治体



人口1万以上5万未満の自治体



人口1万未満の自治体



04

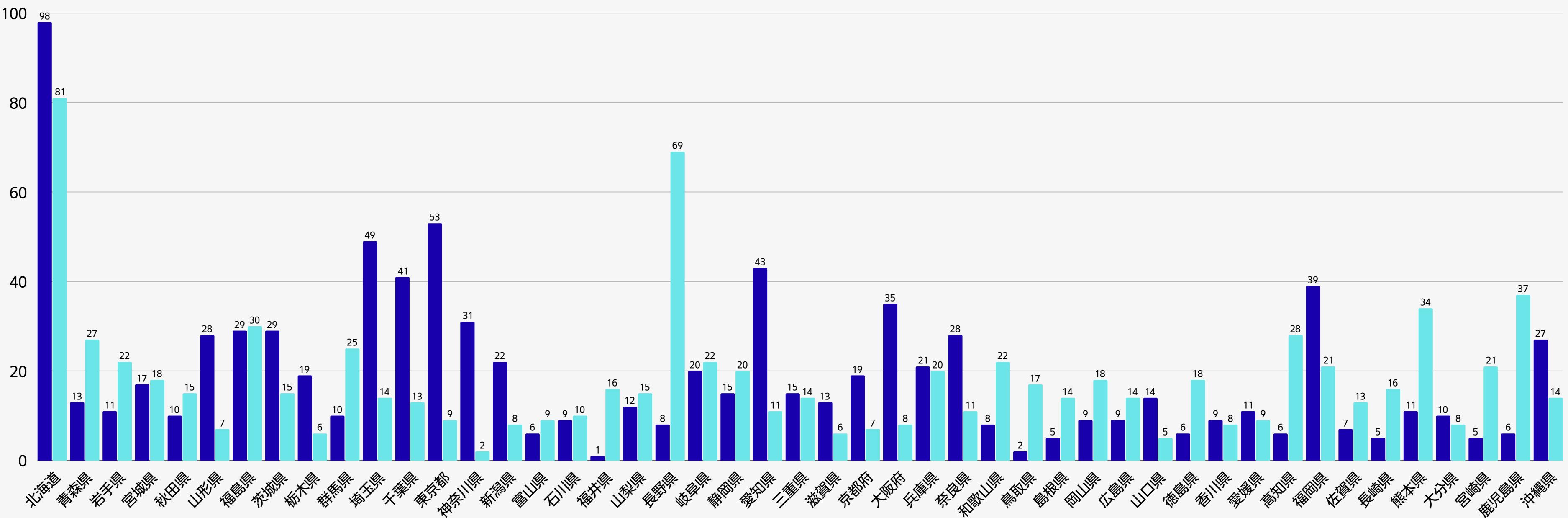
都道府県別の粗大ごみ受付予約割合

予約ありの割合は94%の神奈川県から、6%の福井県まで、都道府県によって大きな差があることがわかりました。

神奈川県（94%）、東京都（85%）、大阪府（81%）といった人口の多い大都市圏が主に上位に並んでいましたが、中には山形県（80%）、新潟県（74%）など地方都市も高い割合で予約ありとなっていました。

島根県（26%）、徳島県（25%）、高知県（18%）、鳥取県（14%）など人口が少ない県に関しては「予約なし」の件数が「予約あり」を大きく上回っていることがわかりました。

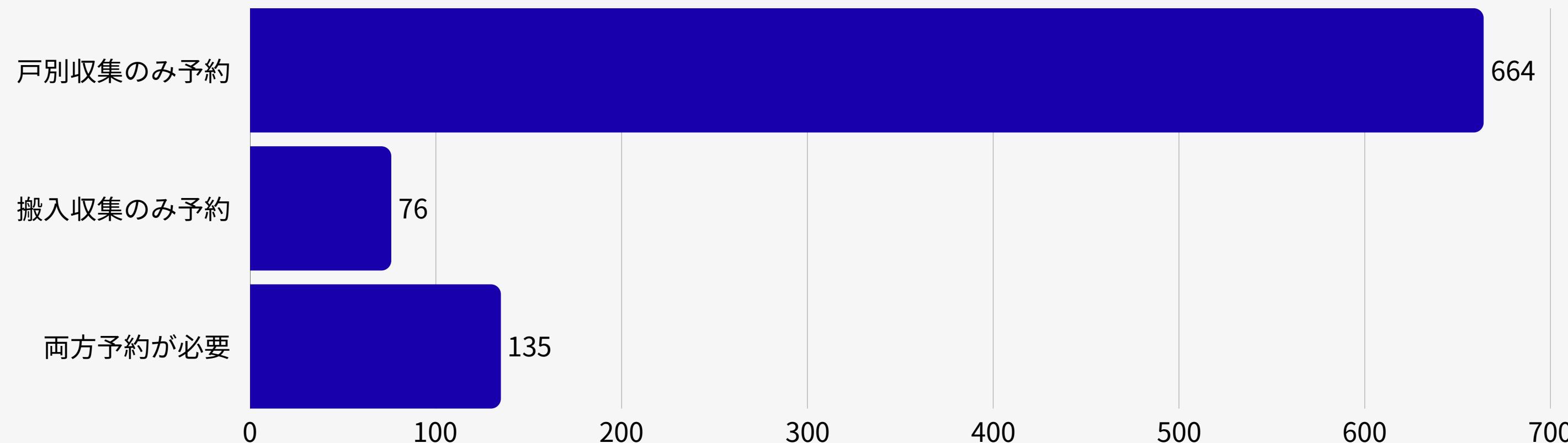
● 予約あり ● 予約なし



05

戸別収集・搬入収集別予約件数

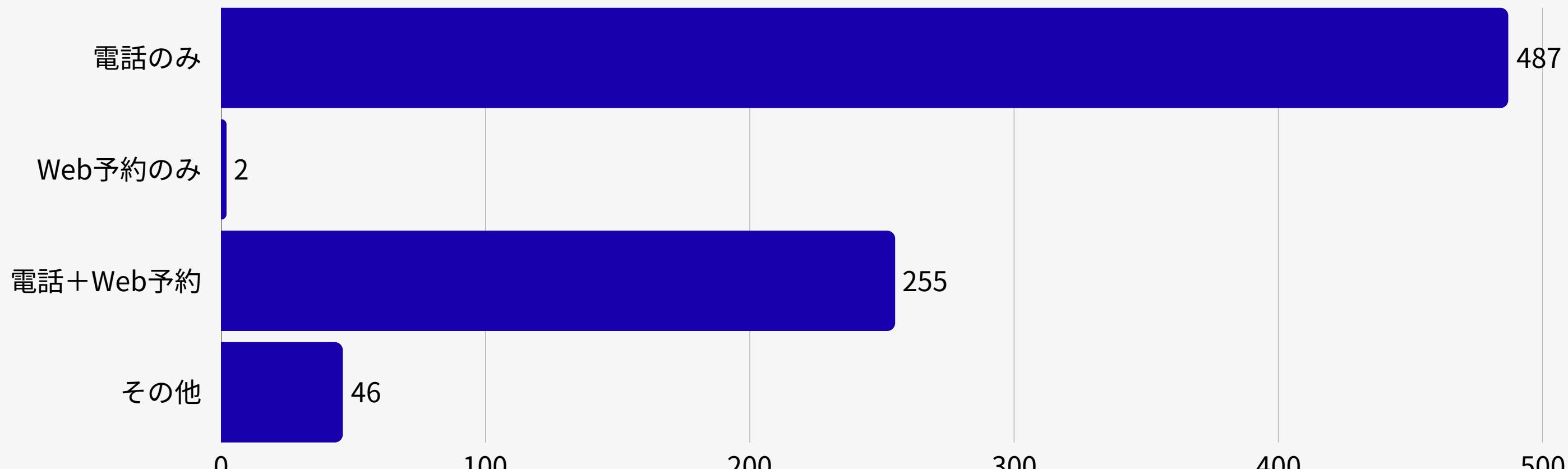
予約が必要な収集方法を比較してみると、戸別収集のみ予約する方法が664件と最も一般的であることが分かりました。搬入予約に関しては、予約を必要とする自治体は少なく、予約なしで搬入できる自治体が多いことが考えられます。



06

戸別収集受付方法

戸別収集の予約受付をしている自治体のうち受付方法について見てみると、「電話のみ」での受付が487件と全体の約6割を占めています。一方で、「電話+Web予約」を併用する自治体は255件にのぼり、電話による受付が依然として主流ではあるものの、多くの自治体でWeb予約も導入されていることが分かります。



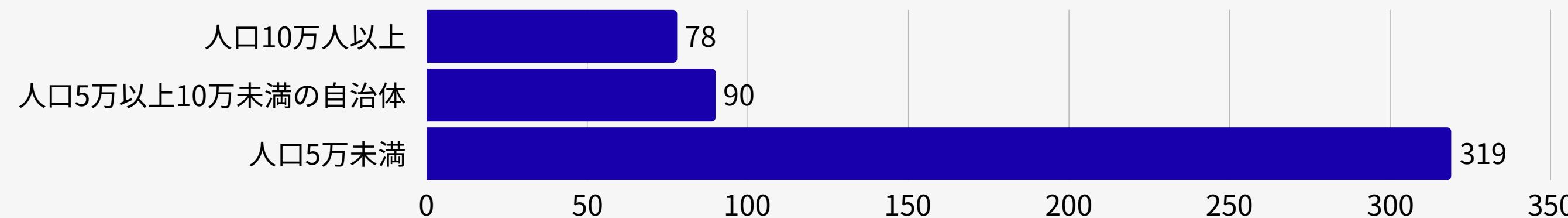
※ 窓口申請・FAX申請対応可も含む

07 自治体規模別で見る戸別収集受付方法

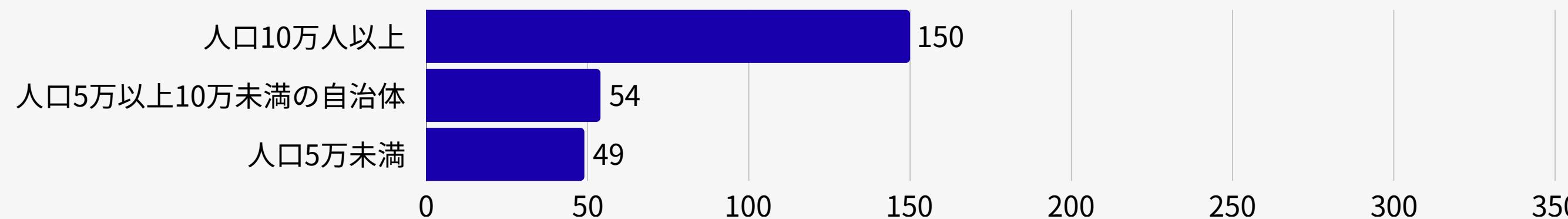
人口規模が小さい自治体ほど、粗大ごみ収集の受付方法として「電話のみ」を採用している傾向が非常に強いことが明らかになりました。具体的には、人口5万未満の自治体では319件と、人口5万以上10万未満（90件）や人口10万人以上（78件）の自治体と比較して圧倒的に件数が多くなっています。

人口10万人以上の自治体に注目すると、「電話のみ」の件数が78件と少ない一方で、「電話+Web予約」が150件と多くなっています。

電話のみ



電話+Web予約

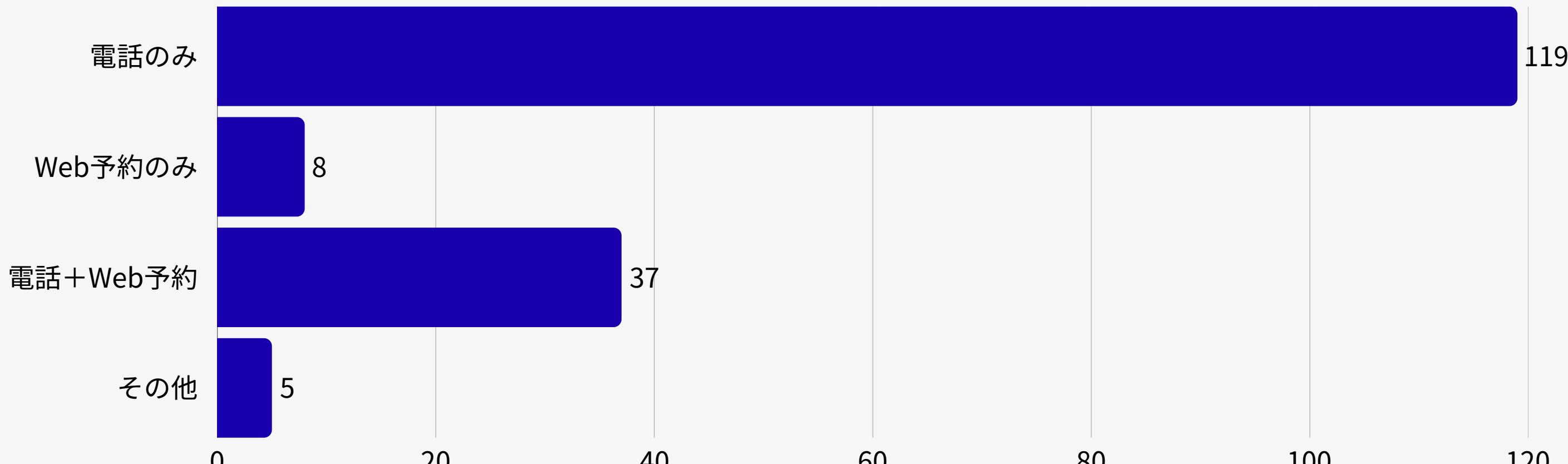


※ 窓口申請・FAX申請対応可も含む

08

搬入予約受付方法

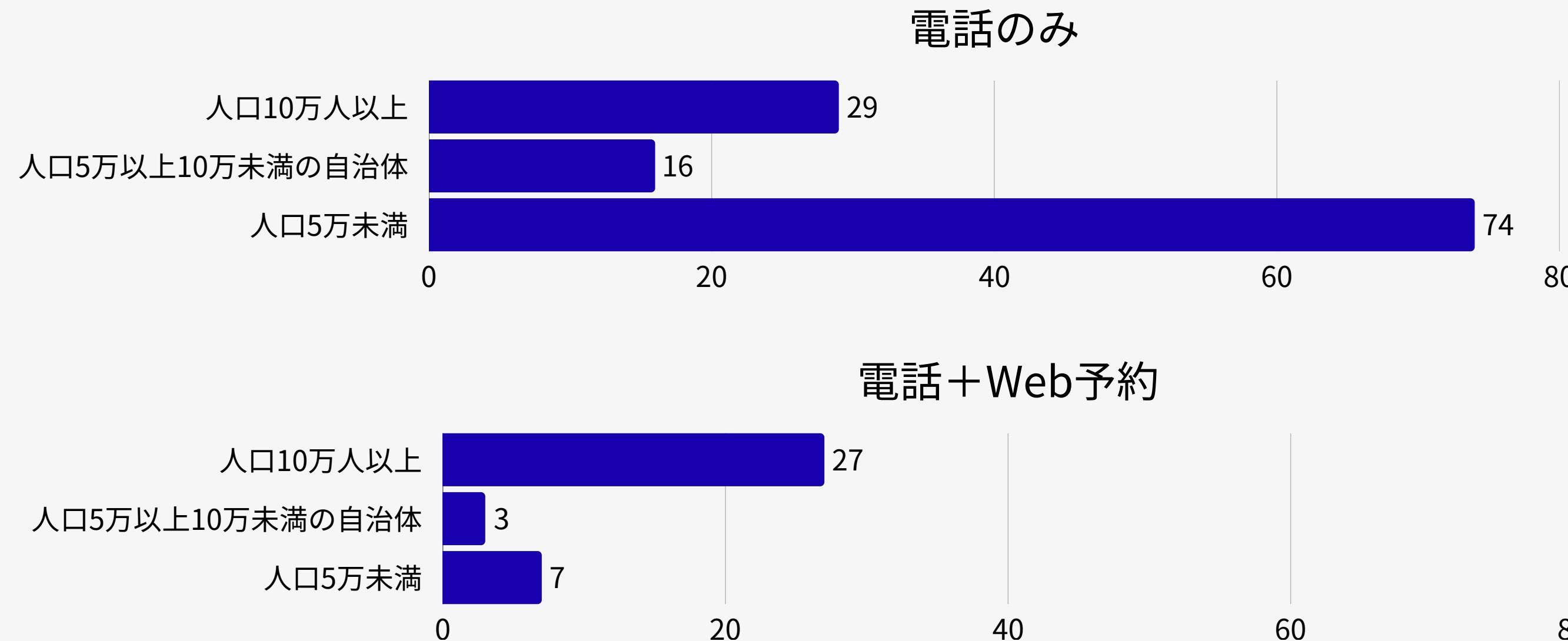
粗大ごみの搬入予約を受け付けている自治体の受付方法を調査したところ、最も多かったのは「電話のみ」で、119件と全体の約7割を占めており、電話での予約が主流であることが分かりました。



※ 窓口申請・FAX申請対応可も含む

09 自治体規模別で見る搬入予約受付方法

人口が少ない自治体ほど「電話のみ」での受付が主流であることがわかりました。対照的に、「電話+Web予約」を導入しているのは、人口10万人以上の自治体で27件と最も多くなっており、住民数が多い都市部では、Web予約の併用が進められていることがわかりました。



※ 窓口申請・FAX申請対応可も含む

10

まとめ

- 粗大ごみの受付に事前予約が必要な自治体は51.3%と、予約不要の自治体（48.6%）をわずかに上回っています。しかし、その状況は人口規模によって大きく異なっており、人口10万人以上の自治体では87%が予約を受け付けていますが、人口1万人未満の自治体では69.1%が予約を受け付けていませんでした。
- 都道府県別に見ると、神奈川県（94%）や東京都（85%）といった大都市圏が「予約あり」の割合で上位を占める一方で、福井県（6%）や鳥取県（14%）など「予約なし」が上回っている県もあり、地域によって大きな差があることが分かりました。
- 収集方法では、戸別収集のみを予約する方法が664件と最も一般的で、受付方法については、戸別収集と搬入予約のどちらも「電話のみ」が依然として主流でした。一方で、人口の多い自治体ほどWeb予約の併用が進んでいる傾向が見られ人口10万人以上の自治体では「電話+Web予約」が150件と最も多くなっています。これは、住民数の多い都市部では、Web予約の導入による業務効率化が進められていると考えられます。



会社概要

会社名： 株式会社G-Place(読み：ジープレイス)

代 表： 代表取締役 綾部 英寿

創 業： 1968年5月7日

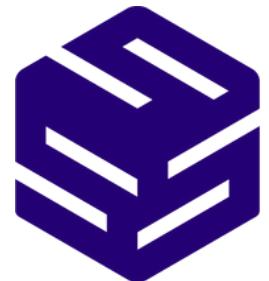
所在地： 【東日本】
〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町3-26
浜町京都ビル3F

【西日本】
〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原4-1-14
住友生命新大阪北ビル13F

＼粗大ごみ・持込ごみ受付業務に課題を感じている自治体さま／
お気軽にお問い合わせください



粗大ごみ受付管理システム



ソダイシス

現場をよく知る自治体職員の方々と一緒に開発をした粗大ごみ受付管理システム
「ソダイシス」

コストを抑えながらも業務効率化につながる多彩な機能を搭載しています。
電話申し込みの対応が大変、情報管理や引継ぎ等現運用で課題がある、キャッシュレス決済を導入したい等課題を感じている自治体さまはお気軽にお問い合わせ下さい。



東日本：03-3663-8745
西日本：06-6210-6666



kssp@g-place.co.jp